

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙

第241号

23. 2 .27

C o n t e n t s

P2

・インタビュー続き
・活動報告 河内長野・大阪狭山地域
委員会「福祉コミュニティ」

P3

・近畿親生会紹介「コーヒー焙煎ワ
ーカーズ 珈琲工房まめ福」

P4

・「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪
・理事会報告 ・おたよりネット
・編集後記

地域でつながる 地域とつながる

生活クラブ連合会では、第6次中期計画において「食（Food）」、「エネルギー（Energy）」、「福祉（Care）」を可能な限り自給し、連携しながら持続可能な社会づくりをめざす「庄内FEC自給ネットワーク構想」を掲げ、実現に向けて動いてきました。それが、今、山形県庄内地域で生活クラブと提携する生産者や、酒田市など自治体と連携することで形になってきました。今回は、「庄内の福祉コミュニティ構想」を担当している「生活クラブ共済連」政策企画部部長の渡辺繁美さんにお話を伺いました。

（聞き手：理事長 吉田 正美）

※FEC自給ネットワーク構想…経済評論家・内橋克人氏が提唱した「FEC自給圏」構想に基づき、生活クラブでは「FEC自給ネットワーク」づくりを方針化。

庄内地域の福祉コミュニティ構想

吉田 人口減少や高齢化、気候変動などの問題は私たちの暮らす消費地よりも生産地の方がより強い影響を受けています。生産者は生産を担い、消費者は消費するという関係だけでは双方の未来の暮らしを維持することや持続可能な社会を実現していくことはできません。

渡辺 生活クラブグループの中だけではなく、生産者の暮らす地域とももっと深くつながっていく必要があります。周りの多様な人たちとつながり、協力し合うことで地域の持続可能性を追求していこうと考えています。

吉田 先日、「庄内の福祉コミュニティ構想酒田拠点視察見学」に参加し、庄内地域内の食べ物（F）、エネルギー（E）そして福祉（C）を通した地域のつながりを見てきました。

渡辺 庄内地域には生活クラブと提携する米や青果、豚肉などの生産者がおおぜいいて、食を

中心にした連携が以前からありました。全農からの紹介で、生活クラブの米産地がある遊佐町に、

「庄内・遊佐太陽光発電所」が2019年に稼働しました。前後して、酒田市が「生涯活躍のまち」をめざしていると提携生産者の「株平田牧場」から紹介があり、酒田市の委託を受け、暮らし方の提案として多世代で参加する暮らしをテーマに拠点づくりをすすめることになりました。現在、山居倉庫[※]の向かいに移住や二拠点生活の拠点を建設中です。

※山居倉庫…山形県酒田市にある1893（明治26）年に建てられた米保管倉庫。現在は酒田市のシンボルとして観光スポットとなっている。

吉田 「TOCHiTO」（トチト）には居住棟と交流棟（地域とつながる活動拠点）や中庭（みんなの中庭）もつくる予定です。

渡辺 酒田市にある大学、「庄内親生会」、入居者、生活クラブ…といったパーツとパーツが有機的につながって、この関係を「庄内・遊佐太陽光発



生活クラブ共済連
政策企画部部長
渡辺 繁美さん

電所]でつくり出すエネルギーの力で地域をまわしていこうと考えています。庄内のまちづくりに活かす仕組みとして、「庄内・遊佐太陽光発電所」の収益の一部で「庄内自然エネルギー発電基金」を創設しました。「TOCHiTO」では、「参加する暮らし」をすすめ、多様な人が義務からではなく、責任分担からでもない、「思い」による参加ができるような仕組みを一緒につくっていきます。

まわりの人たちと一緒につくる

吉田 先日の視察見学の際、まわりとの連携は生活クラブへの信頼や期待の上に成り立っているとあらためて感じました。

渡辺 初めて会う人の思いや考えを知ることは難しいものです。何を考えているのかを伝え、一緒に考え、一緒に体験することで信頼関係が生まれていきます。

そして、生活クラブという枠から外に出て、相手のところに飛び込むことが必要だと思います。外との壁をなくすといろんな人が登場できるようになり、次々と広がっていきます。庄内地域にはたくさんの提携生産者がいるので、その紹介も後押しになりました。2023年度いよいよ「TOCHiTO」がオープンします。これからが庄内地域でつながっていくための仕組みづくりの本番です。

吉田 2023年度はエスコープ大阪の第7次中期計画を策定します。エスコープ大阪でも、私たちの暮らす地域という器の中に入り、組合員や地域の人たちと一緒に持続可能な暮らしをすすめていけるように構想を描きます。

活・動・報・告

河内長野・大阪狭山地域委員会

福祉コミュニティ

河内長野市内の交流畑・会議室

河内長野・大阪狭山地域
理事 芝本 美紀

「福祉コミュニティ」から次の展開へ



今年度は、各地域で「消費」「環境」「福祉」コミュニティを各地域で開催しています。河内長野・大阪狭山地域委員会の福祉コミュニティでは、福祉の分野で私たちができることはないかと組合員から意見をもらい、地域委員会で協議し、畑を使ったコミュニティの場をつくることにしました。『地域ニュース』で登録を呼びかけたところ2名の応募がありました。登録者と地域委員会メンバーで昨年6月から月に1回集まって話し合う中で、ひきこもりがちな人やワンオペ育児をしている人が増えている現状が気になると意見がまとまり、外に出てもらう助けになる活動をすることにしました。

話し合いと同時に、地域委員会の福祉パートナーが所

有している畑（河内長野市加賀田）の一部をお借りして、試しに農作業をおこないました。登録者や地域委員会のメンバーからは、農作業を通して「体調不良で仕事を辞め、気分が沈みがちだったが、土のパワーをもらって元気になった」「なぜ、農作業かと疑問だったが、体

験してみても土のぬくもりを感じ、心が落ちついた」「畑からできることがあると思うので、やってみたい」との声が集まりました。

昨年11月には「河内長野市社会福祉協議会」と会談し、情報交換しました。河内長野・大阪狭山地域委員会として新しい試みである「居場所づくり」をすすめていくことに、希望とともに不安もありますが、2023年度からの活動に向けて、「みんなの畑」（仮称）として準備をしています。運営に関わる組合員も増やして地域の人たちを迎えることができるように話し合いを重ね、組合員の積極的な参加を促して、居場所を一緒につくっていきます。



こんにちは! 近畿親生会です <第10回>

コーヒー焙煎ワーカーズ 珈琲工房まめ福 白江 祐子さん



生産者であり組合員である私たち

コーヒー豆は、その80%が小農民の手で栽培されています。価格はニューヨークやロンドンの商品取引所で、生産者の取り分には全く関係なく決められるため、小規模生産者は正当な対価を得ることができずにいます。そして、生産者から消費者に届くまでの流通経路が非常に複雑なしくみになっているため、消費者は自分の飲んでいるコーヒーの素性を知ることは容易ではありません。

『バランゴンバナナ』や『エコシュリンプ』の民衆交易をすすめる「(株)ATJ(オルター・トレード・ジャパン)」は、2002年に独立を果たした東ティモールのコーヒー豆生産者と出会い、彼らが自立した暮らしをするための支援につながる様々な取り組みを始めました。その中で、ATJから「正



スタッフの伊原好子さん(御年82歳)
生豆選別作業(異物や味に影響する欠点豆をひと粒ひと粒手作業で取り除きます)

な価格で取り引きしたコーヒー生豆を組合員が仕入れて焙煎する事業をワーカーズ・コレクティブという形でやってみないか」という呼びかけがあり、そこに集まった生活クラブ大阪の4名の組合員が、2006年に「コーヒー焙煎ワーカーズ

珈琲工房まめ福」(以下、まめ福)を設立しました。組合員が自ら生産者となり、原材料のコーヒー豆産地へ行き生産者と交流をして、一緒に美味しいコーヒーづくりに取り組む関係を築くことで、「コーヒーの国際産直」の実現を目指してきました。

「ワーカーズ・コレクティブ」は自分たちで出資し、働き、経営の責任も担う「働く者の協同組合」です。スタッフは全員生活クラブ大阪の組合員です。2年前にスタッフのお母さんがメンバーに加わりました。常々「まだまだ働きたい」と言っていたようで、当時80歳でもできる作業を全員で話し合い、体験をした上で生豆選別作業をしてもらうことにしました。日々、自身の作業の進度に目標をもって働いています。主体的に働くワーカーズ・コレクティブだからこそ実現できる働き方だと思います。

「近畿親生会」に加入したことで「私たちは生産者なんだ」という自覚がより強くなり、「生活クラブの生産者」としての向上心にもつながっています。また、「生活クラブの組合員」でもある私たちだからこそ、組合員(消費者)のフィルターを通した生産者の思いを発信しながら、ていねいな物づくりに活かすことができるのではないかと感じています。

消費材を 紹介します

『ペルーコーヒー』の美味しさを実感してみてください!

『ペルーコーヒー』の生豆は、南米ペルーの世界遺産で有名なマチュピチュのあるクスコ州の山岳地帯キジャバンバ地方で

有機栽培されています。生産者と生協の二者認証に加え、有機認証の第三者認証も取得しているコーヒー生豆です。中浅煎り(ハイロースト)にすることで酸味が感じられ、軽い口当たりの後にナッツのような香ばしさが余韻に残ります。酸味が苦手な方には以下の楽しみ方で、ぜひ『ペルーコーヒー』の美味しさを実感してもらえたら嬉しいです。

☆フードペアリング(スイーツなどと一緒に)や食後に楽しむ

同じ味わいのもの同士を組み合わせることでそれぞれの味わいが増して、美味しさを引き立て合います。

- スイーツ: チーズケーキ、フルーツケーキなど
- パン: フランスパン、サンドイッチ、ベーグルサンドなど
- 食後: カレーの後などは、飲み心地のすっきり感がお口の中をリセットしてくれます

消費委員会で試しました
特にフルーツケーキ
との相性抜群!



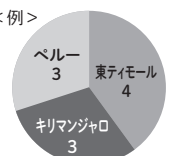
ペルーコーヒー (豆)・(粉)

☆美味しく淹れるコツ

- ① 90℃くらいの湯温(これより低くならないように)でゆっくりドリップすると、酸味が柔らかくなり、奥行きが出ます。
- ② 1杯(130ml)の出来上がり量に対し、粉の量は10gが目安です。

☆ブレンドで楽しむ

年に数回、「食べるカタログ」でまめ福の『ブレンドコーヒー』が利用できますが、普段の消費材を使ってオリジナルのブレンドを作ることができます。産地 <例> やローストの違う『東ティモール』や『キリマンジャロ』をミックスして、お好みの配合を見つけてみてはいかがでしょうか。





「おおぜいの私」がつくるエスコープ大阪

vol.11 『地域委員会②』

協同組合は共通の目的を持った人同士が自発的に集まって作る組織で、出資して組合員となって事業を利用し、運営に関わります。エスコープ大阪の組合員活動の要(かなめ)は「地域委員会」です。地域委員会の主な活動はこれまでお伝えしてきた通り、運動をすすめるための利用推進(これいいよ)や組合員拡大(一緒にやろう)です。その活動をもとにさまざまな課題解決のための運動に取り組んでいます。

組合員組織を継承していくことの難しさ

エスコープ大阪では自ら運営する単位をそれぞれの生活の場である「地域」とし、「地域総(代)会」を開催し、「地域委員会」を組織して「地域組合員の課題＝エスコープ大阪の課題」として解決のためにさまざまな取り組みをすすめていました。2000年に入り「地域」の数はピークで11地域(泉ヶ丘、梅、光明池、河内長野、大阪狭山、和泉・泉大津、泉州南、堺市街地東、堺市街地西、南河内、大阪市南部)ありましたが、活動者の継承がうまくいかない地域委員会が多くなり課題がありました。

地域委員会の設立要件は、最低限自主運営できる規模としてその地域に1,000人以上の組合員がいることと、且つ地域組合員から委任を受けて理事会で事業や活動について決めたり確認したりする地域理事がいることです。これを満たせず「準備会」となっていたり、地域の垣根がない「専門委員会」や「活動推進委員会」

の委員やワーカーズ・コレクティブでの活動(ワーク)と兼務している地域委員もあり、地域活動に専念できる地域委員のなり手が少なくなっていました。

また、自主運営とは自分たちが好き勝手できるということではありません。エスコープ大阪や地域の課題を組合員と共有し、それに向かうための「自主運営」のはずが、うまく機能していないこともありました。この状況を受け、2008年に「組合員活動を考える検討委員会」を設置し、2009年から組織改編をおこないました。

地域自治・自主運営とは

検討委員会では、各地域の地域委員と、理事会の担当理事、職員が出席して、理事とは何か、地域委員とは何か、活動費とは何か…エスコープ大阪組合員の活動と組織の在り方を話し合いました。検討委員会からの答申を受け、理事会で11地域を6地域に改編し、エリアを広げることで理事や委員の選出につなげて組合員活動の裾野を広げ、再度細分化させることを決定しました。また、「地域総(代)会」制をなくし、活動費(組合員の剰余金から拠出)の使い方についても地域偏差をなくして統一化し、生協全体の会計と一緒に管理することとしました。活動の継承をすすめるために、エスコープ大阪のいろいろな取り組みにつながるができる「エスチャンネル」をつくり、現在も活動の担い手づくりの取り組みとして各地域で実施しています。



第7回 理事会報告 <1月11日>

【11月度決算報告】

- 供給高 2億1,976万円
(前年同月比93.0%) ※配達日数は1日少ない
- 組合員数 19,094名(前月比+106名)
- 一人当たりの出資金 88,589円

【12月の放射能検査結果】

12月は連合消費材687検体、関西消費材4検体の放射能検査を実施しました。エスコープ大阪供給分で生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①役員定数について
- ②役員推薦委員会の設置について

【協議事項】

- ①各地域の担い手づくりの進捗状況の確認と意見交換
- ②エスコープ大阪次世代生産者フォーラム
- ③2023年度エスコープ大阪の方針案
- ④2023年度総代会までのスケジュールと機関会議日程
- ⑤第7次中期計画策定のための作業部会メンバー
- ⑥「竜おうみ米」登録取り組み
- ⑦理事委員研修「よやく・りんご」
- ⑧「よやく」の2023年度品目構成と計画への単協意見の提出
- ⑨2022年「グリーンシステムキャンペーン」の振り返り単協意見集約
- ⑩2023年度「生活クラブでんき」契約獲得目標数の集約
- ⑪「グリーンピース」閉所後の施設利用
- ⑫「第6回生活クラブ福祉・たすけあい研究交流集会」への参加について
- ⑬2024年介護保険制度改正に向けた意見提出について
- ⑭「エスコープ大阪まつり」のすすめ方

【報告承認事項】

- ①2022年度の生協役員賠償責任保険の契約間違いについて

おたよりネット



「リッぱる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

239号「おおぜいを巻き込んでゲノム編集食品にNO!」を読んで

紙面モニター Sさん

こちらの記事で初めてゲノム編集食品というワードを目にしました。読み進めると、情報を知っていると知らないのでは、リスクがかなり違ってくるなと思いました。よくスーパーなどでも栄養成分が強化されていて一見良いように思うものは、特に注意しないといけないなと勉強になりました。

編集後記

今回掲載した、庄内地域ですすめている『消費者の「食べたい!」が「住みたい!」につながった生活クラブと庄内地域のローカルSDGs プロジェクト」が、「第10回グッドライフアワード」における「環境大臣賞 優秀賞」を受賞しました。このように認められると、うれしいですね。(Y)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

<https://s-osaka.seikatsuclub.coop/>

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●お名前

●地域名

●班・コース名

●組合員コード

理事會事務局行き
241号(2023.2.27)

キリトリ